

統一地方選 '11

県議選 豊橋選挙区 9人

私の主張

愛知県議選豊橋市選挙区(定数5)に立つ9人の候補予定者を一堂に集めた公開討論会が26日、豊橋市公会堂で開かれた。現職4人、新人4人、元職1人。大村知事のミニフェストに対する考え方はじめ地方財政、震災への支援・防災などについて、各氏が意見を述べ、政治的な立場や主張を訴えた。とくに東日本大震災を踏まえ、防災への備えが強調された。9氏の発言趣旨は次の通り。

(客席から見た配席順)



公明・現職
渡会克明氏

防災対策が最重要課題

最重要課題は、今回の大震災を踏まえた防災対策。危機管理を見直し県民の命を守らねばならない。

防災の充実のため津波のハザードマップや、耐震改修にあたる業者に向けた施行マニュアル作成、企業や

ボランティア、NPO、消防団、行政、自主防災組織、町内会など連携する地域防災ネットワークの構築が重要。

震災被災者については、きめ細かい支援物資の選択や供給ルートの開拓、復旧のための技術者の派遣などが重要。受け入れには行政だけでなく県民が参加する

支援は必要となる。議会改革では、議員定数の大幅な削減や政務調査費の廃止を掲げるが、大村知事のミニフェストの考え方と同じだ。

(佐藤芳久)